

#NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.41

発行日 2001年9月15日
発行者 NICE沼津国際交流協会
(企画広報部会)
所在地 沼津市御幸町16番1号
(事務局) 沼津市役所地域づくり推進課国際交流室内
☎0559-34-2529



Welcome back to ぬまづ!!

何度も沼津へ来ていただいている友人・・・
新しい友人・・・
姉妹都市関係の重みと深さを再認識

今年は大所帯でした。

異常に暑い夏に、爽やかな気候のカラマズーから、3名の留学生が7月17日より、前留学生の吉川さんのホストシスター、今年度のホストファミリー、70代の3名を含む28名の訪問団が24日より、いずれも8月1日まで沼津に滞在しました。

カラマズー部会では、みなさんにどのように涼しく快適に過ごしていただこうかと、スケジュールに検討を重ねてきました。

30日の富士登山では、それまでずっと雲が多く、ひよっとしたらという天候が、五合目付近から雲がとぎれ、あっといわせるタイミングで頂上が姿を見せ、その帰りには初の温泉体験。水着で入れる何種類もの温泉は、珍しく楽しかったようです。高校生が高校生同士の交流を市立高でしている間には、他の訪問団員は歌舞伎鑑賞をしました。特に、『道成寺』では、衣装の豪華さ、舞台の華麗さ、早替わりにどよめきが起こり、日本の古典芸能を堪能しました。25日

の庄司美術館でのショートコンサートも好評で、日本の歌曲のCDを探すことを依頼されました。

今回は、ご家族でいらした方が多く、お二人をステイさせていただいたホストファミリーも何軒もありました。訪問団のみなさんからは、本当に素晴らしい時間を過ごすことができたことと喜びと感謝のメールもたくさんいただきました。みなさん、ありがとうございました。



▲7/25 市長表敬訪問を終えて

「ホストファミリー体験リレー日記」

池田ファミリー

我が家のホームステイ受け入れも3回目。カラマズーに関しては前回に引き続き、やらせていただくことになった。我が家にとって2年に一度やってくる夏の一大イベントとなっている。まるで、ワールドカップかオリンピックのようにワクワクドキドキ、家族全員がこの日のために予定を調整して備えるのであった。

受け入れの準備は6月に始まる。年末の大掃除を遙かにしのぐ規模の超大掃除を始めるのである。今年はさらに荷物を置くための家を1軒借りたり、冷蔵庫を買い換えたり、新聞屋さんに1週間だけJapan Timesを入れてもらうように無理を頼んだり大騒ぎをしながら7月25日を迎えたのであった。

(乗りと勢いで、脳天気な父 力 39歳)

7月25日(水)

いよいよ僕の家ホームステイするケイシーに会う日がやってきました。おとし仲良くなったボブさんやマーシャさんに会えるのもとても楽しみで、朝早くから目が覚めてしまいまし

た。ウェルカムパーティーの会場に行くとお父さんがケイシーとおばあちゃんのベティーさんを紹介してくれました。ケイシーは体の大きなお姉さんでベティーさんはにこにこしてとても優しい人でした。僕はボブさんが大好きなので抱っこして写真を撮ってもらいました。

(物領の甚六を地でいく、心優しい長男 七海 小三)



▲ウェルカム・パーティー

7月26日(木)

朝、ケイシーと一緒にラジオ体操に行きました。お友達はケイシーを見てちょっとびっくりしていました。ケイシーに手をつないでもらったら、温かくて柔らかい手でした。(自由奔放、我が家のアイドル次男 七瀬 年少)



▲鎌倉にて

7月27日(金)

今日は柿田川へ行きました。私は幼稚園の遠足で来たことがあったので、ケイシーをお水がボコボコしているところに連れて行ってあげました。ケイシーはとても喜んで写真を撮っていました。昨日はケイシーが白いご飯を少ししか食べなかったのですが、今日の夕ご飯はお母さんがポテトを作ってくれました。ケイシーはたくさん食べていました。(体は小さいが回転の速さとやる気は負けない、仕切屋長女 七穂 年長)



▲池田ファミリーとゲスト

7月28日(土)

今日はケイシーのおばあちゃんベティーさんも一緒に城ヶ崎の吊り橋に行きました。ベティーさんはいつもニコニコ笑っていてとても優し

カラマズー部会

いおばあちゃんでした。僕はベティーさんの杖を持ってあげたり、手を引いてあげたりしました。マクドナルドでお昼ご飯を食べた後、買い物をしました。ケイシーはアメリカのマクドナルドでアルバイトをしているので、日本のマクドナルドの写真を撮っていました。帰りの車の中でお父さんに教わりながら、ケイシーとベティーさんとお話をしながら帰ってきました。浴衣に着替えてから写真屋さんへ寄って写真を撮りました。花火はきれいだったけど音が大きくてびっくりしました。(七海)



▲市立校で交流

7月29日(日)

～ホストファミリーをやるのは大好き。しかし、学生時代英語の時間になると「透明人間になりたい」と思ったほど英語が苦手な私にとって、緊張の一週間でもある。主人が席を立つと「一人にしないで」と必死に腕をつかみ、もがく私。意欲的に英語を話そうとする子供達に対して全く恥ずかしい限りです。

受け入れ中日の今日は、白糸の滝、カラオケBOXという予定。移動の車の中では英会話教室で習ったDo you like～?を使って話しかける長男。「私だって英語話せるもん！」と英語の手遊びをする長女。英会話学習歴3ヶ月の次男も負けじとTeacher Butcher Farmer Doctorとリズムにのって歌い出す。ケイシーも子供達に合わせてくれて、楽しそうに言葉遊びをしてくれた。とっても和やかな車内。カラオケBOXではケイシーもスタンダードナンバーを聴かせてくれた。主人は長女と十八番のダイアナ・ロスのバラードをデュエットし、酔っていた。どんぐりころころやロンドン橋は全員で英語で歌い、これは大

カラマズー部会

盛り上がりだった。私もこれくらいのレベルならば胸を張って歌えるぞ！ と、ここ一番張り切って歌ってみた。この頃から、単語の羅列でも結構ケイシーに通じるようになった。

(この日を境にしっかり英語を学び直そうと決心した母 恵美子 34歳)

7月30日(月)

ケイシーに御殿場のプレミアムアウトレットの話をしたら、行きたいというので、家内に天恵まで迎えに来てもらい、おばあちゃんのベティーさん共々お連れする。高校生だけにこういうところが気に入ったらしく楽しそうに買い物をしていた。観覧車を見た長男が「お父さん観覧車って英語で何ていうの」「Ferris wheel」「すごい、お父さん何で知ってるの？」すると長女が「わかった、毎朝ラジオで勉強しているからだ」次男は「毎日ラジオ聴くと英語できるようになるう?」「そうだよ、毎日がんばれば必ずできるようになるんだよ」と偉そうなことを言い、良い躰ができたと自己満足に浸る父であった。

夕食は中華が好きだというベティーさんの意見を採り入れた。食べ物に関しては総じて若者の方が保守的で食わず嫌いの傾向にあり、年輩の方がチャレンジ精神に満ちているのは何故だろう。日本くんだりまでやってきてチキンだのポテトだの食べたってしょうがないのにと思ふのは、海外へ行くと怪しげな屋台で見たことない食べ物を見ると食わずにはいられない食いしん坊の私だけであろうか。この日も長女が好物の肉まんを食べていると、ベティーさんが少し分けてと言い出した。長女は肉まんを半分にすると「Here you are.」いつの間にか、長男が言っているのを覚えてらしい。みんなにすごいと誉められて得意満面である。ベティーさんも肉まんが気に入ったらしく、ご満悦の表情である。日米両国を肉まんが結んだ瞬間であった。(力)

7月31日(火)

我が家にとって、この夏最大のイベント、ホストファミリー体験も終盤。今夜はポットラックパーティー。ゲストのみなさんに会える喜びを感じる反面、終わってしまうんだなあと寂しさが込み上げてくる。長女は朝から腹痛や頭痛を訴えていて、風邪でもひいたのかなと心配し

ていた私だったが、どうやら精神的なものだったらしい。「明日のお別れのことを考えると、寂しくて寂しくてねえ」とつぶやく長女。異常なくらいはしゃぐ長男、次男、これもきっと寂しさを紛らわすためだったのだろう。荷物の整理のためにケイシーが部屋にはいると、部屋の前をウロウロする子供達。

ゲストの皆さんとハグするとしばらく離れられない。そのうち熱いものが込み上げてくる。これっきりじゃないのにとわかっていながらも、やはりダメ。パーティーのお料理が沢山残っていた。みんな胸がいっぱいで食べられなかったのだろう。(恵美子)

8月1日(水)



▲送別会では、こんなシーンも。
ルーサーの腕の中でスヤスヤ!



▲ホストファミリーの皆さん、
お疲れ様でした。

見送りのためにいつもより少々早く子供達を起さなければならなかったが、夕べ夜更かしをしたわりに自分たちで起きてきた。次男は「ケイシーは?」なんてとぼけたことを言っている。朝食の支度をしていると「大人はこっちへ来ちゃダメ」と何やらコソコソやっている。どうや

ら自分たちの小遣いを合わせて買って来たプレゼントを包んでいるらしい。暫くたつとプレゼントだかゴミだかわからない固まりを得意そうに持っていた。

別れ際というのは、いつも自分の語学力の無さを後悔するときである。自分の気持ちを正確に伝えられないもどかしさは、子供達も同じらしい「～って英語で何て言うの」の連続である。帰りの車の中でさっそく3人でホームステイごっこが始まる。仕切屋の長女が「あたしがケイシーで、せっくんがおばあちゃん。おにいちゃんはおにいちゃんのままだよ」すかさず長男が「Do you like chicken?」と兄弟の間ですっかりおなじみになってしまったDo you like遊びを始めた。

我が家の受け入れのテーマは「楽しむこと」であった。ゲストに日本を沼津を、そして我が家の一員として楽しんでもらい、その笑顔によって自分たちも楽しもうという魂胆であった。自分たちが楽しむ目的は十二分に果たせたが、ゲストは楽しんでもらえただろうか。最大の懸案事項であった言葉の問題は今回も勢いで乗り切ってしまった感があるが、「もっと話せたら、もっと楽しいのに」と家族全員が感じたのは確

(写真と「リレー日記」の内容とは一致していません)

カラマズ一部会

かである。そして、根が単純な池田家の面々は、その日のうちにラジオ講座のテキストを買いに本屋へ走るのだった。

こうして我が家のホストファミリー体験は大成功のうちに幕を閉じたのである。めでたしめでたし。(力)



▲京都で舞妓さんに変身！
交換留学生のアンドレアとケイトリン

広告代理店
(株)読売PR マルヒ口通商
大岡 2927-1
☎ 21-4891 FAX 22-2305

確定申告、贈与税、相続税、法人企業会計、経営相談
多賀義明税理士事務所
税理士 多賀義明 税理士 多賀一朗
沼津市上香貫横島町1336-10
☎(0559)34-1500(代) FAX(0559)34-1505

看板・ネオン電飾・展示装飾・店舗改装・プラスチック加工
有限会社 やまと看板
取締役社長 長 沢 芳 明
沼津市本字千本 1910-112
☎(0559)62-1612(代表) FAX 62-1613

信物霧下 そば **安田屋**
本店 ☎62-1127
大手町店 ☎51-4676

総合人材サービス
SANKO 三幸興業(株)
沼津市花園町20-6

テレビCM好評放映中 ☎0559-24-5381

大静警備保障株式会社
TAISEI SECURITY GUARD, INC.

〒410-0056 静岡県沼津市高島町27-16
TEL(0559)23-0532

ふれあい部会

踊らなきゃ!!

燦々おどりに参加しました!!

昨年から、ぬまづ夏まつりの一環になりました燦々おどりに7月28日に参加しました。

参加チームも減り、わがNICEチームも集合時間には参加者が少なく心配しました。でもカラマズー市からのお客様が参加してくださり華やかなものになりました。暑い中踊った人・裏方の人そして応援してくれた人、ご苦労様でした。

来年は、もっと大勢の参加チーム数と参加人数になるように企画しましょう。



◆参加者の声◆

It was an honor to be asked to dance with the NICE group. It was fun to learn the dance and be dressed in costume. We had to learn the dance quickly, but we had good teachers.

The spirit and enthusiasm shared by all were evident. It was a hot day, but it did not matter because we were having so much fun we forgot about the heat. As we marched along the street, the people watching cheered us on. Everyone young and old seemed to enjoy the parade. There were a lot of photographs being taken, so I had to be sure and smile as I tried to follow and learn the dance steps.

Even though we don't always understand the language of words, we do share the music dance and cooperation of each other. Being in the parade and being part of the NICE group will always be a great and wonderful memory for me.

I hope many of the people of Numazu come to Kalamazoo.

Jan Baker (カラマズー訪問団員)

燦々踊りに参加して

山本 敦子

『祭りはみるもんじゃないよ。参加しなきゃ！踊らなくちゃつまないよ!』

実にその通り！ 燦々ぬまづ踊りではNICEチームの皆と一つになったような気がして、踊るのが楽しかった。中には、整列場所の一小グラウンドで合流して本番直前に振りを覚えた人もいたけれど、和気あいあいとお互いに教え合っていくうちに、自然と連帯感が生まれていた。予想がはずれて？昨年よりも少人数で踊り始めたチームの中に、知り合いを引き入れ、見学していたカラマズーからのお客さんたちを巻き込

んで、衣装、人種ともに色とりどりの私たちは、NICEという名前のトルネードだったかもしれない。

冒頭の言葉は、練習初日に参加した私にふれあい部会のスタッフの方が掛けてくださったもので、『さあ みんなおいで。楽しくやろうよ』という温かい気持ちに囲まれ、とても心地よかった。

もちろん、踊り終えた後の爽快感と達成感も参加したからこそのご褒美だし、大手町会館での懇親会も、祭りのこと、日本のことなどで盛り上がり、気分は最高!!

来年もまた踊っちゃおうかな。素敵な体験をさせてくださったスタッフの皆さんに心から感謝します。

『岳陽師範学院留学体験記』

加藤 昌史さん（留学期間 1998年秋～2000年秋）

私自身当初は1年間の留学予定だったのですが、岳陽での生活が、想像以上に魅力的かつ有意義であったため、最終的には期間を延長し2年間滞在しました。



▲図書館の閲覧室

中国の印象はやはりその人の多さです。13億という数字をみても明らかですが、街角は昼夜にかかわらず常に人の熱気で溢れています。幼い頃からこれら多くの人たちに囲まれて育つ環境から培われた彼らの自己アピール能力、力強さは現在の日本人には欠けており、学ぶべきところです。

2年間で多くの方々と知り合いましたが、中国語上達への近道は出来る限り多くの人たちと交流することです。同じ留学生でもコミュニケーションに積極的か消極的かで中国語能力にも差が出てきます。文化習慣の違いからトラブルや困難に遭遇することも多分にあります。しかし、それらの問題を自らの力で解決していくことも、中国生活の面白さ、人生における貴重な体験のひとつであると思います。

岳陽は中国の他の都市と同様、新しい街づくりに励んでいる都市です。この数年で市街地の雰囲気が大きく変化し、近代的なデパートやファーストフード店などが目立つようになりました。しかし、岳陽楼や洞庭湖など中国屈指の観光名所を有するため、中国本来の姿も十分に残っています。

市街地の美化運動に力を入れているおかげで、近隣の他の都市と比較し、清潔で落ち着いています。私は他の都市へ旅行へ出かける機会が多かったのですが、岳陽に戻ってくる度に、町の美しさに安心感を覚えました。



▲クリスマスパーティー
左から2人目（加藤君）



▲新年会で歌う留学生たち
左から3人目（加藤君）

また、中国の学生はスポーツ好きで、毎日放課後になると、校内の至る所でバスケットボール、サッカー、バレーボール、卓球など様々なスポーツをしています。

私も学生時代にバスケットボールを経験していたため、学生を見つけると、いつも仲間に入りプレーしていました。彼らはとてもオープンで一言声をかければ、大歓迎ですぐにゲームに混ぜてくれます。

彼らの運動能力や技術は想像以上で、おかげで

レベルも上がったような気がします。

留学中の2年間は、日本では到底経験できないことの連続でした。力強い中国の学生に混ざって生活したという経験は、この先、私自身のエネルギーの源となっていくでしょう。

WTO加盟や2008年北京五輪をひかえ、急激な変貌を遂げようとしている中国で留學生活を送ることは、皆様の人生にとって忘れられない経験になるということに疑念の余地はありません。

現在、私はそのような経験を生かし、メーカーで中国方面の事業企画を担当するかたわらで中国語通訳をしております。

国際交流なんでも情報室

◆中国料理教室◆

◆第1回◆

日時 9月23日(日) 11:00~15:00
 場所 第一地区センター
 講師 今保リメイさん (台湾出身)
 料理 ・台湾風パスタ
 ・2色野菜と貝柱あんかけ
 ・椎茸と肉のスープ

受付開始 9月12日(水)から

◆第2回◆

日時 10月28日(日) 10:30~15:30
 場所 第一地区センター (予定)
 講師 游碧瑜さん (台湾出身)
 料理 ・牡蠣の豆鼓炒め
 (カキのトウチ炒め)
 ・糖酢蓮白巻
 (甘酢ロールキャベツ)
 ・芝麻球 (胡麻団子)

◆第3回◆

日時 11月25日(日) 10:30~15:30
 場所 第一地区センター (予定)
 講師 藤沢昭光さん
 料理 ・魚翅湯 (ふかひれスープ)
 ・クラゲの旨煮
 ・什錦冬瓜 (蒸し料理)

※いずれも、会費2,000円
 持ち物 (エプロン、ふきん、三角巾)

◆英語&日本語スピーチコンテスト◆

日ごろ感じていることを外国人は日本語で、日本人は英語で発表します。

とき 10月14日(日)14:00~16:00
 ところ 市立図書館視聴覚ホール
 対象 県東部地域に住むか通勤・通学する、1986年4月1日以前に生まれた人
 題目 自由
 (5分以内。自作で未発表のもの)
 定員 各10人 (先着順)
 申込 所定の用紙で
 締切 10月3日(水)

※1~3位までに賞状・トロフィー・副賞を、出場者全員に参加賞を呈します。

問い合わせ&申し込みは
 NICE事務局へ
 (地域づくり推進課国際交流室)

◆畳表替・裏返し・工事一式◆

杉原畳店

沼津市大塚329-1
 ☎66-0271 FAX66-0389

素朴な味と心にくつろぎなされ。

年中無休 夕5時から深夜12時まで。宴会随時受付中!

三島駅前本店
 三島駅前 フジビル2階
 電話 72-3721



沼津五月町店
 リコー通り 郵便局本局裏
 電話 26-0602

お茶と海苔

創業60年

茶の香陵

静岡県沼津市御幸町19-5
 TEL<0559>31-1133(代) FAX<0559>31-1146番

SIGN BOARD・DESIGN & PLANNING

SIGN
 LAND



(有)田中看板店 〒410-0046 沼津市米山町2-2
 ☎(0559)21-2712(代) FAX(0559)24-2032